

あらえびす賞

歌を表現すること

赤石小学校 5年 二階堂 結月

五月四日、滝沢市で行われた「いわてシンガーソングフェスティバル」に出場しました。母からこの大会があると聞いた時、大勢の人の前で歌ったことがなかったので悩みました。しかし、たった一度の人生だから挑戦してみようと思い、出場することを決めました。

歌は、私の大好きなアーバンギャルドの「シンジユクモナムール」にしました。この曲を選んだ理由は、大きなステージでこの曲を表現してみたいと思っていたからです。

私は、初めてこの曲を聴いた時、二人の少女の歌に感じました。なので、まず二人の少女のキャラクターを考えました。一番の「死んだら負けよ それだけよ」という歌詞から、誰かを強気に励ましている少女。二番は「傷つくもんか 泣くもんか」という歌詞から、傷ついて悩んでいる、でもあきらめない少女にしました。だから、一番は元気いっぱいな少女を表現して歌いました。

難しかったのは二番でした。なぜなら、私は今まであまり悩んだことがなかったからです。沢山傷ついて悩んでいる少女をどう表現すればよいのか分かりませんでした。でも、傷ついたことや悔しかったこと、それでもあきらめない気持ちはよく分かります。その気持ちを思い出しながら、色々な映画やドラマを見て、少女の気持ちを考えました。二番のサビの最後、「この世は地獄だけどさ」の部分で、私は、二番の少女が死を覚悟したのだと思いました。この曲全体に散りばめられている死の感情を、私は、間奏で屋上に立って町を見下ろすイメージで表現しました。

最後のサビで一番の少女が、「飛んでくれるな おじょうさん」と止めに入り、二番の少女が、「傷ついてくれ 泣いてくれ」と振り払う様子を、交互に表現しました。二人の少女に見えるように、ステージでどのように表現できるか考え、何度も練習しました。

歌い終わった後、歌が思うように歌えなかったのと、上手く表現できたか

が不安で泣いてしまいましたが、結果は審査員特別賞でした。歌で初めて賞をいただき、心から嬉しかったです。終わってから色々な人に言葉をかけてもらい、大きな自信になりました。

歌には、メロディーで元気が出たり、歌ってみたいと思ったり。歌詞に共感して気持ちに前に向いたり、涙が出たりと様々な力があります。フェスティバルを通して、私は初めて歌詞の意味を自分なりに真剣に考え、それを歌い手としてどう表現するかに悩みました。この歌を沢山の人に聞いてもらえたこと、そして、歌う勇気を出して本当に良かったと思いました。歌手という将来の夢に、大きく近づいたような気持ちになりました。

「生きてるうちよ 死んだら負けよ それだけよ」

これから先、自信が無くて傷ついたり、悩んだりする時があると思います。でも、この曲を表現してみんなに聴いてもらった経験がきっと私の背中を押してくれるはずです。

曲名 シンジユク・モナムール
作詞・作曲 松永 天馬

審査員講評

あらえびす賞感想文について

「大きなステージで歌を表現してみたい！」

そんな思いを実現するために自分の大好きな歌と向きあって、歌の力を感じることができましたね。これから結月さんの力の源となってくれる音楽に出会えるはずです。色々な音楽を聴いたり歌ったりして、音楽の楽しさをみつけてください。

優秀賞

チャレンジ！

赤石小学校 4年 川原 優衣果

「チャレンジ！」という曲には、歌ったり、聞いたりしているみんなに、「ゆめ」をあたえてくれるような、すてきな曲だと思いました。だから、私は、この「チャレンジ！」が大好きです。

「チャレンジ！」の作曲者である、「館内聖美さん」は、「チャレンジ！」という曲にたいして、「元気に笑顔で歌ってもらい、心に残る曲になればそれでいい。」という思いをこめて、作曲しています。

調べてみると館内聖美さんには、ほかにも代表曲がありました。それらの曲は今でも教科書で使われていたり、多くの人に知られていました。中でも「チャレンジ！」は一九九八年から、小学四年生の音楽の教科書で使われ始め、二〇二四年の今でも全国の四年生が、歌ったり、楽しんだりしていることを初めて知り、おどろきました。

「チャレンジ！」の他にも、館内聖美さんの代表曲「てのひら」という曲も音楽の教科書で使われていたり、多くの合唱団が歌っていたりしている、とても有名な曲だそうです。こんなにも、多くの人に知られて、愛されている曲がたくさんあり、館内聖美さんは、すごい人だと思いました。それに、歌を学んだり、歌が好きな人達や数多くの人達と音楽でつながっていると感じ、今の私はこの「チャレンジ！」の曲を通してとてもすてきなことを学んでいると分かり、幸せだと思いました。

「チャレンジ！」の二番の歌詞にある「くじけない心が決める」は、「今、自分のゆめが見つからなくても、あきらめなければいつかならずすてきなゆめが見つかるはず。」という思いがこめられていると思いました。そしてその後の「チャレンジ！チャレンジ！」は、「あきらめずにみんなにエールをとどけよう。チャレンジしてーらん。」という思いがしてきます。そして、曲の感じがいっきに明るくなってくるので気持ちも明るくなり、「やっぱりこの曲大好き。」と体がはずんできます。

「大空高く羽ばたけ」という歌詞からは、「自由でたくさんすてきなゆ

めをもっていいんだよ。」というような思いがこめられている感じがしてきて、私も自分のゆめの実げんに向かってチャレンジしたいという思いが強くなりました。

これからの練習では今まで以上に笑顔で歌い、さらにまわりの歌声やピアノの音をしっかりと聞いて音やテンポをみんなと合わせて歌いたいです。

「チャレンジ！」は、「たくさんチャレンジして、進んでいってほしい。」という思いもこめられてある曲なので、見ている人や聞いている人に「たくさんチャレンジして、前向きに進んでいく。」と、ゆう気を伝えられるように元気な歌声で歌って、家族やたくさんのお客さんに「感動と笑顔」を届けられる、すてきな歌声で学習発表会や音楽会を向かえたいと思います。

曲名	チャレンジ！
作曲	舘内 聖美
作詞	舘内 浩二

優秀賞

心が落ちつく曲

赤石小学校 4年 菊池 莉央愛

私たちは、学習発表会、音楽会に向けて五曲の歌の練習をしています。練習では、笑顔で、それぞれの曲に合わせて、元気な声や美しい声を使い分けて歌うことをがんばっています。

私は練習している曲の中で「もみじ」が一番好きです。初めて聞いたとき、私はぼんやりしてそうであまり好きな曲調ではないと感じました。しかし、何度も聞いていくうちに、落ちついていて、美しく、やさしく包みこんでくれるような曲だなと感じてきました。私は今まで元気が出る明るい曲調の歌がすごく大好きでしたが、「もみじ」を聞いてからは、聞いている人の心が落ちつき、やさしく包みこまれているように感じる歌を歌っていききたいと思いました。そして、前までは明るい曲がすごく好きでしたが、落ちついていく曲もすごく好きになりました。

私が「もみじ」を好きな理由は二つあります。一つ目は、追いかけて歌っているところがあるからです。追いかけて歌っていると、それぞれの音程がちがいます。先に歌っている方は後から来る音につられないように、後から追いかける方はさい初の音につられないように歌うところが難しいです。他にも練習している曲の中に「with you smile」という曲があります。この曲にも追いかけて歌っているところがあります。「with you smile」は、ソプラノの中でも分かれる音があったり、ソプラノとアルトに分かれる音があったりします。どちらの曲も歌ってみると歌いやすさとつられないように歌う難しさがあると感じました。練習していくうちにだんだんとつられないように歌うことができてうれしいです。

二つ目は落ちついていく曲調の歌だからです。もみじは、歌う時の歌声が元気な声よりも、やさしく包みこんでくれるような歌声の方がぴったりだと思います。自分の気持ちも落ちつくのですごく好きです。

本番ではこの曲を、聞いている人に落ちついていてやさしく歌っているように感じてもらえるように、笑顔で美しい歌声で歌うことを意識したいです。

曲名 もみじ
作曲 岡野 貞一
作詞 高野 辰之